

委 45-1

第44回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成9年12月10日（水）
 14:00～14:40
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 宇宙環境利用に関する地上研究の公募（第2回）について
 (3) 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の姿勢異常の調査状況について
4. 資料 委44-1 第43回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委44-2 第2回「宇宙環境利用に関する地上研究」の公募について
 委44-3 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の姿勢異常の調査状況について
5. 出席者
 宇宙開発委員会委員長代理 山 口 開 生
 宇宙開発委員会委員 長 柄 喜一郎
 " 末 松 安 晴
 " 秋 葉 鏖二郎

 関係省庁
 通商産業省機械情報産業局次長 河 野 博 文（代理）
 郵政大臣官房技術総括審議官 甕 昭 男（"）

事務局

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

千葉 貢 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第43回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委44-1）が確認された。

(2) 宇宙環境利用に関する地上研究の公募（第2回）について

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部宇宙環境利用研究センター 吉村センター長より、資料委44-2に基づき、第2回「宇宙環境利用に関する地上研究」の公募の実施計画等について説明があった。

これに関し、委員より、今回配分可能な予算額、募集期間及び募集方法、第1回公募で選定された研究の成果発表予定等について質問があった。

(3) 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の姿勢異常の調査状況について

宇宙開発事業団軌道上技術開発システム本部 古川副本部長より、資料委44-3に基づき、11月30日に発生した技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の姿勢制御異常の原因箇所を特定するために行われている姿勢制御関連機器の機能確認試験の実施状況、現時点での結果、今後の予定等について説明があった。

これに関し、委員より、異常発生時の衛星搭載ソフトウェアの処理ロジックの点検により判明した、現在の故障診断機能（FDIR）では異常部分が1種類しか識別されない場合があるという意味、姿勢異常の原因が複数の異常の同時発生である可能性があるのかどうか、原因が判明しない場合の衛星運用方法、今後の詳細な予定等について質問があった。

これに対し、事業団より、現在のFDIRでは、例えば最初に姿勢制御ホイールに異常が生じた場合、誘導制御コンピュータ等のヘルスチェックがスキップしてしまうため、それを改修したいこと、また、原因解析で洗い出された項目の約9割については正常であることを確認しており、今後、軌道上

での放射線の影響の可能性の検討や全体システムでの調査等を継続すること、更に可視域外での衛星データを蓄積し、スラスト噴射結果を見て、今後の全体計画を立てる予定であること等の回答があった。

以上